

南河内中学校区

【目指す子ども像】

<p>小1 小2 小3 小4 ← 学びの基礎をつくる →</p> <ul style="list-style-type: none"> ○進んでなかく勉強する子 ○友だちにやさしくできる子 ○元気に楽しく運動する子 	<p>小5 小6 中1 ← 学びを広げる →</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自ら考え学び合える子 ○心やさしく助け合う子 ○健康で元気な子 	<p>中2 中3 ← 学びを深める →</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自ら学んで互いに高め合える子 ○心豊かで助け合える子 ○体をきたえやりぬく子
--	---	---

【実践研究課題】 「コミュニケーション能力の育成」

研究主題 (中学校区共通の学校課題)
 「主体的に表現し、伝え合う児童・生徒の育成」
 ・英語の授業を中心に、コミュニケーション能力の育成につながる小中一貫した指導について研究する。
 ・コミュニケーション能力の育成につながる各教科等における指導の工夫を行う。
 ・義務教育学校開校へ向けた教育課程に、特色ある教育活動を位置付ける。

各部会の取組

<特別活動部会>

【義務教育学校設立へ向けた準備】

特別活動全体計画、キャリア教育計画作成。4-3-2の区切りと連続性の確認。

取組	・特別活動全体計画、キャリア教育計画を作成する。
成果	・特別活動全体計画、キャリア教育計画を概ね作成することができた。 ・4-3-2の各ステージにおける連続性を確認したり、今後の活動への見通しをもつことができた。
課題	・学校行事、部活動、クラブ活動等についても、今後進めていく必要がある。

<生活・総合部会>

【義務教育学校設立へ向けた準備】

4-3-2の連続性と各校の特色を生かした全体計画を作成。

取組	・総合的な学習の時間、情報メディア、図書館教育、福祉教育の全体計画作成 ・総合的な学習の時間、各学年の活動案作成
成果	・各分野とも、4-3-2の区切りに分けて指導目標を立て、全体計画を作成することができた。 ・各地区の実践を活動案に記載し、学習を進める手がかりとなる資料にすることができた。
課題	・生活科と総合的な学習の時間を一緒に検討することはできなかった。生活科の年計が出来上がり次第、次年度の教科部会で検討する。 ・総合的な学習の時間(中学校)活動案の作成を次年度に引き継ぐ。 ・情報モラル教育の年間指導計画が現在存在している。次年度、各教科の年間指導計画や教育課程に合わせて学年ごとの作成が必要。

<道徳部会>

【義務教育学校設立へ向けた準備】

道徳教育・人権教育 教育計画の検討、作成。

取組	・道徳教育・人権教育の教育計画の検討と作成。
成果	・道徳教育全体計画の作成をした。目標と重点、各ステージ(4-3-2)の目標を着手した。グランドデザインとずれが生じないようにグランドデザインをもとに作成した。
課題	・道徳教育の別業や、人権教育の各教科との関連指導計画は教科書の変更や行事が定まっていないため、次年度以降に作成する。

<児童生徒指導部会>

【義務教育学校設立へ向けた準備】

・児童・生徒指導計画作成
 ・各校の実態把握や生活のきまりの確認

取組	・学校生活のきまりの確認、各校の児童・生徒指導計画の共有 ・児童・生徒指導教育計画作成 ・教育相談計画作成
成果	・児童・生徒指導計画の完成 ・教育相談計画の完成
課題	・いじめ防止対策のための計画を作成

<安全部会>

【義務教育学校設立へ向けた準備】

教育計画・年間計画の作成

取組	・南河内中・薬師寺小・吉田西小の3校の教育計画を持ち寄り、現状の安全教育についての情報交換・共有を行う。それをもとに新設校の教育計画・年間計画を策定する。
成果	・小中間での交流を通して、互いの学校の実態を把握することができた。また、共通認識のもとで協議することで、常に建設的な意見交換ができた。 ・安全教育計画・全体計画を作成することができた。
課題	・安全教育担当者のスキルアップ(防災・防犯・交通安全等の知識の習得)を行う。 ・交通安全計画、防犯計画、防災訓練計画の検討と計画を行う。

<特別支援教育部会>

【義務教育学校設立へ向けた準備】

特別支援教育計画の作成

- 1 構成(中項目、小項目等)の検討。
- 2 各ステージの3つの区分を、学年ではなく、障害種類や発達状況での連続性として分けて検討。
- 3 校内支援体制や組織の役割と運営の検討。
- 4 個別の教育支援計画のさらなる活用と評価の検討。
- 5 特別支援教育の推進を図るため、全職員の共通理解項目の検討。

取組	・特別支援教育計画を作成し完成させるため、各校の教育計画を持ち寄り、話し合いを重ねた。また、各ステージを学年別ではなく、障害種類や発達状況を考慮しながら3つのステージに分けた。
成果	・ステージⅠ(主に重度の障害がある児童や低学年の児童) ステージⅡ(主に自ら行動でき、集団に参加できる児童生徒) ステージⅢ(自立を目標に行動できる児童生徒)とした。 ・各校の教育計画から、必要と思われる内容を精選し、教育計画を完成した。
課題	・来年度から各校で本教育計画を元に実践し、実践しながら修正していく必要がある。

<保健給食部会>

【義務教育学校設立へ向けた準備】

- ・学校保健計画の作成
 - ・性に関する指導計画の作成
 - ・保健室経営計画の作成
 - ・緊急時対応マニュアルの作成
 - ・食に関する指導計画の作成
 - ・健康指導全体計画の作成
- ①構成(目標、課題の検討) ②3つの区分で内容検討 ③各校で一致している部分を探し統一 ④決められた様式で作成

取組	・学校保健計画の作成 ・性に関する指導計画の作成 ・健康指導全体計画の作成	・食に関する指導計画の作成 ・保健室経営計画の作成 ・緊急時対応マニュアルの作成
成果	・学校保健計画の完成 ・保健室経営計画の完成 ・緊急時対応マニュアルの完成	・食に関する指導計画の完成 ・給食指導全体計画の完成
課題	・健康指導全体計画というものが各校存在しないため、作成は来年度となる。 ・性に関する指導計画の様式も各校が今まで使用していたものと様式が変わるため、作成は来年度となる。	

<学校課題研究チーム>

学校課題グループと、英語科・外国語活動授業研究グループに分かれて研究を進めた。

学校課題

グループ

○目指す児童生徒像の検討
学習指導全体計画の作成

○義務教育学校へつなげる
特色ある教育

○義務教育学校へつなげる活動

①TGG(TOKYO GLOBAL GATEWAY)

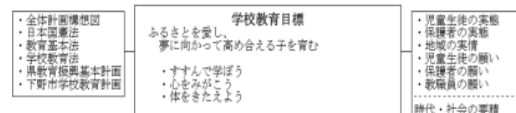
②朝の会でのイングリッシュタイム
日付や曜日、天気を英語で話す。
英語の歌を歌う。

③ノー原稿発表

○めざす児童生徒像

学習指導全体計画

1 全体計画構想図



学習指導重点目標

- 1 基礎的・基本的な学力の定着を図る。
- 2 主体的に学ぶ児童・生徒を育成する。
- 3 自分の考えや意志を表現できるコミュニケーション能力を育てる。

※ 9年間目指す児童・生徒像と到達目標

小1 小2 小3 小4 一歩の基礎をつくる	小5 小6 中1 一歩を広げる	中2 中3 一歩を深める
○進んでなにかよく勉強する子	○自ら考え学び合える子	○自ら学んで互いに高め合える子
1 各学年における、基礎的・基本的な学力及び、学習習慣を身に付けることができる。	1 各学年における、基礎的・基本的な学力及び、学習習慣を身に付けることができる。	1 各学年における、基礎的・基本的な学力及び、学習習慣を身に付けることができる。
2 粘り強く学習することができる。	2 自ら考え、ともに学び合うことができる。	2 主体的に課題を解決することができる。
3 相手に依るようになり、相手の話を最後まで聞いたりすることができる。	3 自分の考えをもち、互いを認め合いながら話し合うことができる。	3 相手の意見を尊重しながら自分の考えを明確に伝え、意見を交換することができる。

英語科、外国語活動
授業研究グループ

- 重点課題の設定
- 教材の共有、作成
- アンケート調査

○今年度の重点課題

- ①話す人
アイコンタクト (eye-contact)
相手の目を見て話す。
- ②聞く人
リアクション (reaction)
身ぶり手ぶりをを使って、反応する。

小・中ともに授業における伝え合う活動を充実させ、聞き方や話し方についての指導を通して、会話を続けられる

〈授業の流れカード〉



〈リアクションカード〉

That's right! 😊

Good! 👍

Great! 🎉

Oh, my god. 😲

Really? 😮

Me? 🙄

英語の学習に関する調査
対象：小5・6年生、中学生全員

英語の学習に関する調査 (2020年 2月) 小学校5・6年生

※調査は、当年度ある国語科の授業で行う予定です。
※質問は、必ず自分の意見で答えてください。
※回答は、必ず自分の意見で答えてください。
※回答は、必ず自分の意見で答えてください。
※回答は、必ず自分の意見で答えてください。

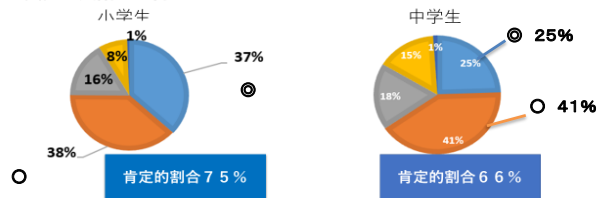
1. 外国語活動の授業は楽しい。
2. 英語を話すことは楽しい。
3. 英語を聞くことは楽しい。
4. 外国語活動の授業では、友達やALTの先生と進んで英語で話している。

英語学習に関する調査を年2回実施し、成果や課題について分析を行う。

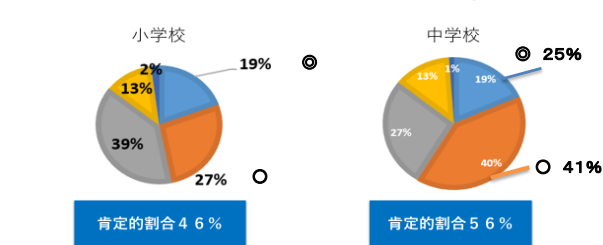
第1回目の調査結果より抜粋

1回目調査 2019年7月
2回目調査 2020年2月 と比較予定

・1回目調査より
質問：英語の学習は好きだ



質問：英語で話をする際に、自分の思いが伝わらないときは、身振り手振りを使って伝えようとしている。



(1) あなた自身のことで、当てはまるものを選んでください。

- 1 外国語活動の授業は楽しい。
- 2 英語を話すことは楽しい。
- 3 英語を聞くことは楽しい。
- 4 外国語活動の授業では、友達やALTの先生と進んで英語で話している。
- 5 友達やALTと英語で話している、自分の言いたいことがうまく伝わらないときは、ジェスチャーなどを使って伝えようとしている。
- 6 日本や外国の言葉や文化をもっと知りたいと思う。
- 7 自分の学校や地域のことについて、外国の人に英語で紹介したいと思う。
- 8 英語は、将来役に立つと思う。
- 9 自分から進んで英語の勉強をしたいと思う。
- 10 みんなの前で自分の意見を言ったり、発表したりすることが好きだ。
- 11 外国語活動の授業だけでなく、授業中に友達と意見交換をしたり話し合ったりすることが好きだ。
- 12 外国語活動の授業だけでなく、授業中に進んで自分の意見を言うことができる。